

家庭用廃食用油の再生利用モデル事業

取り組みの概要

家庭から出される廃食用油を、市内各所のスーパー等で回収し、軽油の代替燃料となるバイオディーゼル燃料（BDF）に再生し利用することで、化石燃料の使用を軽減し地球にやさしい環境づくりに貢献するとともに、温暖化防止に対する市民の意識の高揚と廃棄物の減量を図っています。

協働の きっかけ

従来はごみとして捨てられていた家庭から出る廃食用油を回収し、BDFとして再生利用する取り組みを通じ、市民に地球温暖化防止や廃棄物の減量などの、環境意識を高めてもらうため、平成20年度から始めました。

環境課

・ゴミ収集車など市公用車でのBDFの利用が出来る

・回収拠点の開拓、拡充（協力依頼）



市民（町内会）、企業（スーパー等）、 バイオディーゼル燃料精製事業者

・店内放送等による、廃油回収の啓発ができる

強み

役割

- 【企業】・回収ボックスの設置・管理
- ・社用車でのBDFの利用
- 【精製業者】・廃油の回収・運搬
- ・BDFの精製と利用の促進
- 【市民】・廃食用油の提供

協働の 成果

多くの市民が事業の趣旨に賛同し取り組むことで、年々廃食用油の回収量も増加しており、地球温暖化等の環境意識の向上や帯広市全体の二酸化炭素排出量削減につながっています。

協働のポイント

行政・団体が共通の目的のもと継続的に協力し合うこと。

